

にいがた

生涯学習ネットワーク



地域活動 キラリ☆



折り鶴キャラバンの開催

日本ボーイスカウト新潟連盟では、5月30日にイオン新潟南を会場に折り鶴キャラバンを開催しました。参加した約800名の子どもたちはボーイスカウト活動の体験や折り鶴づくりに取り組みました。

この活動は、山口市阿知須「きらら浜」で7月28日～8月8日開催の第23回世界スカウトジャンボリーの一環として全国で実施され、広島平和祈念公園に献呈します。

(日本ボーイスカウト新潟連盟)

十日町のPRとまちの活性化

2009年に開催された第4回大地の芸術祭で好評を博した作品のひとつに「雪ノウチ」がありました。

この作品に魅了された私たちは、神秘的な雪の世界をイメージした作品の一部の「雪玉」を利用して地元のPRとまちの活性化に取り組んでいます。

今年の2月は、雪祭りのお客様を歓迎するため、JR十日町駅にも500個の「雪玉」を吊しました。

今年も第6回大地の芸術祭が開催されています。ぜひ妻有の地においてください。

(十日町市 南部地区振興会)



内 容

- 地域活動キラリ☆ 「折り鶴キャラバンの開催」・「十日町のPRとまちの活性化」
- みえる・つながる・つくりだす ① 上越市安塚区「全住民参加型のNPO法人設立」
② 燕市「地域の困りごとサポート」
③ 新潟市西区「学校行事に地域住民が参加」
- ねっとわーく「女のスペースにいがた」・「新潟市ユネスコ協会」
- ひと・人・ひと「村上市 水野谷 理恵さん」
- 資料紹介「消滅してたまるかー品格ある革新的持続へー」
- 揭示板「にいがた生涯学習県民フォーラム2015」・「社会教育主事講習（B）」ほか
- 新潟県生涯学習協会インフォメーション

みえる・つながる・つくり

上越市
安塚区

全住民参加型のNPO法人設立

私たちの地区は、純農村地帯で、山間、豪雪の厳しさの中で過疎化が進んでいますが、活力と自信を取り戻そうと観光振興や個性あるまちづくりを続けてきました。

広報紙での紹介や、姉妹町の岐阜県山岡町からの指導を頂く中で、住民から全住民参加型のNPO法人設立の動きが出始めました。そして行政の支援体制や準備委員会等を経て「お互いに支えあい、安心して暮らせる地域」を目指して「NPO 雪のふるさと安塚」の設立となりました。

なかでも9年目を迎えた国土交通省認可の自主事業「福祉有償運送ボランティア事業」は、高齢者等を移送するサービスで大変喜ばれています。現在利用会員66名、提供会員23名で新規の提供会員増加課題です。

また委託事業の「安塚ふれあいサービス」では「サロン」や「介護予防教室」など地域にあったサービスに努めています。

今年で設立11年目を迎え、19人を雇用し、雇用の場としての役割も果たしています。高齢化率増加のなかで、『あって良かった!』といわれる活動を進めていきたいと考えています。

(NPO 雪のふるさと安塚 代表理事 松永 剛)



「安塚ふれあいサービス」昼食、送迎つきで多くの人と交流。

地域紹介 上越市安塚区

新潟県西南部に位置し、長野県と境を接する。平成17年上越市と合併。(人口2,670人 H27. 5月末)

私たちは、新潟県生涯学習協会を
応援しています (賛助会員企業)

共立印刷株式会社

〒950-0971 新潟市中央区近江2丁目16番15号
TEL.025(285)2711(代) FAX.025(283)9386

燕市 地域の困りごとサポート

近年、人とひととのつながりが希薄化する中、そのつながりを改めて構築し、同じ地域に住む住民同士が、見守ったり、支え合ったり、助け合ったりする「地域支え合い活動」を推進するため、燕市社会福祉協議会では地域住民の皆さんや燕市及び地域包括支援センター等の福祉関係機関と協力し、二つの取り組みを中心に実践しています。

一つ目は、支え合い活動推進委員会の設置です。支え合い活動の推進母体で、地域課題の把握や、その課題を解決するための事業の企画、実践に取り組みます。

二つ目は、支え合い活動相談員の配置です。身近な地域に設置される相談所の相談員として、ひとり暮らし高齢者など支援が必要な方のゴミ出しや見守り、その他生活上のちょっとした困りごとを地域のボランティアや福祉専門機関へつなぐ役割を担います。

燕市での「地域支え合い活動」は、地域住民が様々な役割の中で参加し、主体となって活動していくことを大切に実践しています。(燕市社会福祉協議会)



◀支え合い情報交換会

身近な地域の
相談窓口▶



地域紹介 燕市

県央に位置し、金属洋食器、金属ハウスウェアの国内主産地。一方農業も盛んである。(人口約82,000人 H27. 5月末)

麒麟山酒造

minatoku 株式会社 皆徳

本社／新潟県新発田市豊町 4-5-33 TEL 0254-22-2998(代) FAX 0254-22-5175

だす

新潟市
西地区

学校行事に地域住民が参加

新潟市立内野中学校[内野三川リバーサイドウォーク]

本番2週間前、中学校の体育館での地域学習会(公民館主催:生徒・PTA・地域住民対象)から始まります。青々とした水田が広がる現在の風景が信濃川水系の新川、西川、広通川の3本の川と密接に関係しており、先人の苦労のおかげで今の地域の姿になったことなどを、地元の研究家から学びました。

本番は5月9日(土)
朝8時スタート

コースも中盤に▶
声かけ合って前進!



地域住民参加の働きかけは、地域にある新潟市西地区公民館が中心になり、広報の強化とともに、「うちのDEウォーキング講座」の開催や、初心者用の5kmコースの準備をして参加者を募りました。

当日は3本の川沿いに設定された25kmのコースを先人の苦労を思いながら各自のペースで爽やかな風に吹かれて完歩を目指しました。5kmコースに参加された皆さんの中には中学生の頑張りにパワーをもらい、25kmへ変更する人も見られました。

6年前から続くこの学校行事に地域住民が参加する取り組みは新しい地域活動の姿です。住民の参加者が増え、地域の年中行事として定着させたいと考えています。(今年度の参加者数は生徒600人、PTA90人、住民は昨年度の3倍 45人)

(新潟市西地区公民館長 前田和隆)

地域紹介 新潟市西区内野地区

新潟市西区の中心の町のひとつ。日本海に面した新川河口にあり、舟運で栄えた。新潟市中心部から約12km、同地区内には新潟大学がある。

(新潟市西区西出張所管内人口は約35,000人 H 27. 5月末)

菊水
www.kikusui-sake.com

ねっとわーく。

— 女のスペース・にいがた —

女性の人権と自由を侵害するあらゆる暴力の根絶を目指して以下の活動をしています。運営は、活動に賛同・理解をくださる会員の会費で賄われております。どうかご支援ください。

- ① 女性の抱える問題の相談・支援事業
- ② 女性のための一時シェルター・
ステップハウス運営事業
- ③ 講演会、講座などの開催及び講師派遣
- ④ デートDV防止啓発事業
- ⑤ 会報紙「くりあ」の毎月発行
- ⑥ 自助・自主グループの支援事業。

◆相談電話: 025-231-3012
◆メール: fspace@piano.ocn.ne.jp
◆H P: <http://os-niigata.info/index.html>

— 新潟市ユネスコ協会 —

私たちは2006年6月設立の新潟県内唯一の民間のユネスコ協会です。

国連のユネスコ憲章の理念「心の中に平和の塔を築く」に基づき、世界平和と人類共通の福祉の実現を目指した活動をUNESCOや日本ユネスコ国内委員会と連携・協力して展開しています。協会の団体数は国内で約270、世界で約5000になります。

新潟市ユネスコ協会の主な活動は、書き損じハガキの回収で発展途上国への寺子屋建設などの支援をする「世界寺子屋運動」、「平和の鐘

を鳴らそうコンサート」開催、新潟市内全小学校への「ユネスコ活動紹介事業」、「東日本大震災子ども支援募金」、また「佐渡金銀山世界遺産登録」への支援等も行っています。

(事務局:(一財) 北方文化博物館内)



一般社団法人
新潟市ユネスコ協会



ひと・人・ひと



村上市 水野谷 理恵さん

◀お城山での自然観察

私は学びの楽しさを多くの方と共感するために自宅でフリースクールを開講した。

現在は不登校対応が主。人間関係と生活習慣に障壁ができている子どもたちは、まず庭の畑へ出て土と出会い、隣の方と出逢い、山登りをしている方、畑をしている方など地域の方と出逢い、心と体を回復していく。私ひとりでは為し得ない、自然と地域との共生による学びがここにある。

●資料紹介●

『消滅してたまるか —品格ある革新的持続へー』

長岡地域の活性化に取り組んでいる民間団体で、筆者が副理事長を務めている【シンクタンク・ザ・リバーバンク】が、文藝春秋社との共同発行で上梓することができた。

本書は、35年後の2050年の長岡を今以上に潤いある地域としたいとの問題意識に基づき、サステナビリティ(持続可能性)およびイノベーション(革新)の重要性に立脚しつつ、地域内外の専門家が産学さらに民の連携を密にして、よりよい未来に向けての処方箋を示すものである。本書は85名が執筆にあたり、内容は多彩なものとなった。執筆陣の長岡地域への「思い」を熟読・吟味頂ければ幸いである。



(長岡大学 松本和明)

掲示板

◆ にいがた生涯学習県民フォーラム2015

問い合わせ

県生涯学習推進課 025-280-5616
10/30~31 会場：県立生涯学習推進センター

◆ 新潟県立生涯学習推進センター

申込・問い合わせ 025-284-6110

- ①コーディネーター養成研修会 11/6
「コミュニティを創造するメディア活用講座～小さなメディアを育む～」
講師：東京大学大学院情報学環教授 水越伸
- ②社会教育主事講習(B) H28/1/20~2/26
- ③コミュニティリーダー研修会 9/3
「コミュニティ・ビジネスを活用したコミュニティの再構築」
講師：松本大学教授 白戸 洋

◆ 新潟県立青少年研修センター

申込・問い合わせ 0256-77-2111

- ①親子で体験・みんなで発見・秋こそ青研 10/17~18
- ②青研スキルアップセミナー
「グループワーク」11/14~15

◆ 新潟県少年自然の家

申込・問い合わせ 0254-46-2224

- ①自然・ふれあい！家族のつどい！ 12/5~6



新潟県生涯学習協会 インフォメーション

新潟県生涯学習協会は昭和47年に設立し、会員の会費と県の補助金で活動している社会教育関係団体です。



この情報紙では、地域課題解決に向けた取り組みを紹介しながら、地域づくり、人づくり、ものづくりに大きな役割を果たす社会教育活動を応援していきます。

新会員も募集しています

活動の詳細はホームページをご覧ください。

編集・発行：新潟県生涯学習協会 調査広報委員会

*「にいがた社会教育」から数えて441号になります。

〒950-2004 新潟市西区平島1301番地 中野プラザ107号
TEL・FAX : 025-266-1120

E-mail : syakyo56@feel.ocn.ne.jp HP : <http://niigata-lla.com/>

印 刷：共立印刷株式会社
〒950-0971 新潟市中央区近江2丁目16番15号 TEL 025-285-2711

編集後記

厄災や挫折、失敗は人生にはつきものですが、何が幸せになるかは分からぬですね。

マイナスをプラスに転じていくことはできると思い、協会の新しい運営に大きな希望を持っていきます。(田原)